

授業科目(ナンバリング)	日本語の研究 A (CA307)			担当教員	東出 朋		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、日本語教員養成課程の履修者にとっては、必修科目である。授業では、日本語教育における初級文法項目を、日本語クラスで問題となることと結びつけながら学ぶ。同時に、各回で取り上げる文法項目が、初級の日本語教材でどのように提示されているかを、教材を分析することで把握する。さらに、学習者がどのような点で誤りをおかしやすいか、学習者にどう説明すればわかりやすいかを、誤用分析や例文作成をとおして検討する。							①②③④⑤ ⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	日本語の初級文法の機能や構造を説明できる。文章を分析し、日本語の初級文法を用いて機能や構造を説明できる。					課題レポート	40%
情報収集・分析力	初級者の学習進度に合わせて、日本語で短文が作成できる。当該文法について、資料に基づいて適切な導入方法を検討することができる。					宿題 ディスカッション	30%
コミュニケーション力	初級者の学習進度に合わせて、日本語でコミュニケーションをとることができる。					フィールドワーク	15%
協働・課題解決力	文法項目のより適切な提示・指導方法について、クラスメイトと話し合い、試行錯誤して改善することができる。					ディスカッション	15%
多様性理解力							
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
学期中間と学期末には、日本語教育文法に関する専門知識を問うレポートを課す。毎授業後には、授業で扱った文法項目に関する例文作成などの宿題を課す。宿題は次の授業でディスカッションを通じてフィードバックを行う。授業内での発表及びディスカッションで、文法項目に関する理解を深め、その提示・指導方法を考える。							
授業の概要							
日本語教育の初級段階で提示される文法項目を学び、文型比較や例文作成、教材分析、誤用分析、学習者との日本語交流活動などとおして、日本語教師となるための基礎的な知識と技術を身につける。授業前（予習）には、次の授業の箇所について必ず読んでくる必要がある。授業後（復習）には、文法項目の提示・指導方法に関する宿題が課される。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：山下暁美（編著）・沢野美由紀（著）（2019）『改訂版 書き込み式でよくわかる 日本語教育文法講義ノート』アルク スリーエーネットワーク（2013）『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 本冊』及び『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク 参考書：スリーエーネットワーク（2016）『みんなの日本語初級Ⅰ 第2版 教え方の手引き』スリーエーネットワーク 寺田和子他（1998）『日本語の教え方ABC』アルク 市川保子（2005）『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク 大森雅美・鴻野豊子（2016）『授業の作り方Q&A-今さら聞けない授業のキホン-』アルク 指定図書：荒川洋平（2004）『もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら（クロスカルチャーライブラリー）』スリーエーネットワーク							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業時間外も、常に自己が用いる日本語を分析的に観察する。また、学内やアルバイト先で留学生などの日本語学習者と接する機会があれば、その人の日本語力に合わせてコミュニケーションをとるように努める。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の目的と目標、進め方、予習、復習の方法について説明する。	予習) シラバスを読み、教科書の学習項目を確認する
2	第1課 名詞文	名詞文(「N1はN2です」とは名詞文の留意点	予習) 課題1,2 (p9) 復習) まとめの問題 (p19)
3	第2課 形容詞文	形容詞の種類 形容詞文(「NはA(形容詞)です」)	予習) 課題1,2 (p15) 復習) まとめの問題 (p18)
4	第3課 動詞の分類	活用の型による分類 活用形の呼称 動詞の種類	予習) 課題1 (p21) 復習) まとめの問題 (p26)
5	第4課 辞書形	辞書形とは 辞書形を用いた文型	予習) 課題1,2 (p27) 復習) まとめの問題 (p30)
6	第5課 ます形	ます形とは ます形を用いた文型	予習) 課題1,2 (p31) 復習) まとめの問題 (p41)
7	第6課 て形	て形とは て形を用いた文型	予習) 課題1,2,3,4 (p37) 復習) まとめの問題 (p36)
8	第7課 た形	た形とは た形を用いた文型	予習) 課題1,2 (p43) 復習) まとめの問題 (p47)
9	第8課 自動詞・他動詞	自動詞と他動詞とは 自動詞・他動詞の対	予習) 課題1,2 (p51) 復習) まとめの問題 (p54)
10	復習	教材分析、導入と練習方法の検討	予習) 1～9回目の復習
11	第9課 テンス	テンスとは 従属節のテンス	予習) 課題1,2 (p55) 復習) まとめの問題 (p58)
12	第10課 アスペクト	アスペクトとは アスペクトを表す表現	予習) 課題1,2 (p59) 復習) まとめの問題 (p62)
13	第11課 モダリティ	モダリティとは モダリティを表す表現	予習) 課題1 (p63) 復習) まとめの問題 (p66)
14	第12課 ヴォイス	ヴォイスとは 受身形・使役形・使役受身形・可能形	予習) 課題1,2,3 (p67) 復習) まとめの問題 (p76)
15	総まとめ	ディスカッション	予習) 1～14回目の復習